

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2025 年度年間聖句

「良い土地に蒔かれたものとは、
御言葉を聞いて悟る人」
(マタイによる福音書 13 章 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時
祈 禱 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第 3・午後 2 時)
●夕の祈禱会
(第 2、第 4・午後 7 時)

牧 師 井 殿 準
協力牧師 堂 本 陽 子
協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

3178 2025 年 10 月 5 日

礼拝式順序

(聖霊降臨節第 18 主日)

司式者 井 殿 準
奏楽者 黒 田 理 佳

前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 96 : 1 ~ 3	司 式 者
讃 美 歌	1 4 8 「全地よ、主に向かい」	一 同
聖 書	エフェソ 5 : 1 ~ 5 (新 P.357)	司 式 者
使徒信条	(9 3 - 4 - A)	一 同
合 唱	「大波のように」(讃 II 1 7 1)	聖 歌 隊
祈 禱		司 式 者
讃 美 歌	4 7 7 「主イエスを想えば」	一 同
説 教	「神に愛されている子ども」	司 式 者
祈 禱		”
讃 美 歌	4 1 3 「キリストの腕は」	一 同
転 会 式		司 式 井 殿 牧 師
聖 餐 式		”
讃 美 歌	8 1 「主の食卓を囲み」	一 同
献 金		”
主の祈り	(9 3 - 5 - A)	”
頌 栄	2 9 「天のみ民も」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」	一 同
報 告	～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	司 式 者
讃 美 歌	9 2 「主よ、わたしたちの主よ」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「教会の命」

(ヤコブ 2 : 8 ~ 1 3)

主イエスのもとに集って来た人々の中には、貧しい者や「罪人」と呼ばれて蔑まれていた者が大勢いた。ユダヤ社会にあって貧しい人々や「罪人」と呼ばれていた人々は、無価値な者として軽んじられ、人生そのものを否定された状態にあったが、主イエスは彼らをご自分のもとに招き、「神の国はあなたがたのものだ」「神はあなたがたを真つ先に受け入れる」と宣言し、彼らを温かく迎え、大切な尊ぶべき一人一人として向き合い、愛された。主イエスのもとで、彼らは真に生き生きと喜びに溢れて生きることができていた。主イエスのもとには、人を生かす力、命があった。

主イエスの死後、その働きは弟子たちに受け継がれたが、最初の教会の中にも、喜びが満ちあふれていたと言う(使徒 2:46~47)。教会の中にも人を生かす力、命があったということだが、教会では、その命の力を削いでしまうような出来事もしばしば起こる。ヤコブの手紙 2 章前半には、誕生して間もない教会において、貧しい人々が軽んじられたことが記されているが、手紙の著者ヤコブは、貧しい人々を軽んじる人々に向かって、「世間ではそれが当たり前のこととしてまかり通っているかも知れない。しかし、あなたがたはそうであってはならない」と訴える。

さらにヤコブは、「一つの落ち度があるなら、すべての点について有罪となるからです」と語りつつ、戒めの中に重要な戒めとそうでない戒めなどはなく、殺人の罪も分け隔てする罪も、神の御前においては同じ重さをなのだと続ける。金持ちに喜んで席を譲り、貧しい人にそうしなかったことを、ある人は些細な問題と考えるかも知れない。しかし、それは決して些細なことではなく、重大な過ちなのだ。

この世にあっては、それが当たり前のこととされているかも知れないが、それと同じことをする時、教会は力を失ってしまう。命を失ってしまう。今日の聖書の御言葉はそのことを我々に告げている。この語りかけに真摯に耳を傾け、一人の人に対する憐れみの心、尊敬の心の重大さを心に留めて、憐れみと愛に満ちた群れを形作ることを、これからも大切に行こう。